

南阿蘇村村制20周年 記念式典・イベント開催

20th
anniversary



平成17年2月13日に旧白水村・旧久木野村・旧長陽村の合併により南阿蘇村が誕生し、村制20周年を記念して、1月19日に南阿蘇中学校体育館で、「南阿蘇村村制20周年記念式典・イベント」が開催されました。

式典は、永松浩史阿蘇地域振興局長や馬場成志参議院議員、坂本哲志衆議院議員令夫人坂本晶江氏ら国、県関係者、草村大成高森町長をはじめとした自治体関係者、地域住民ら多数の来賓が出席され、南阿蘇中学校吹奏楽部による演奏で開幕。吉良村長による式辞、山室村議会議長による祝辞のほか5人による来賓祝辞

が述べられました。引き続き功労者表彰が行われ、「特別表彰」、「地方自治」、「地域振興」、「社会福祉」、「産業振興」、「教育文化」の6部門で、個人55人と23の団体が表彰され、それぞれの代表者に吉良村長から表彰状が手渡されました。

イベントでは「みなみあそ歌桜会」による村歌の披露、村内3保育園の園児による遊戯発表の後、「よしもとお笑いステージ」が行われ、熊本出身コンビの「カーネギー」による漫才と、「九州新喜劇in南阿蘇村2025」で会場は大盛り上がりでした。



①式典で式辞を述べられる吉良村長 ②祝辞を述べられる山室昭憲村議会議長 ③来賓祝辞を述べられる阿蘇地域振興局長永松浩史局長 ④来賓祝辞を述べられる坂本晶江夫人 ⑤来賓祝辞を述べられる馬場成志参議院議員 ⑥来賓祝辞を述べられる河津修司県議会議員 ⑦来賓祝辞を述べられる阿蘇市町村会草村大成会長

功労者インタビュー



スポーツ推進委員会 会長 中尾博昭さん

33年間スポーツ推進に関わり、スポーツ推進委員会長に任命され2年になります。これまでの20年でパークゴルフなど、私たちの推進してきたスポーツが村内に普及しており嬉しく感じています。現在はモルックなどのニュースポーツの推進に取り組んでいます。今回、これらの活動が評価され、表彰をいただき嬉しく思います。村は熊本地震からの復興により交通の便が良くなるなど、住み良い村になったと感じています。これからもより住み良い村になることを期待しています。

今後も誰もが楽しめるスポーツの普及を委員一同、目指していきます。



⑧特別表彰部門 建設業組合岩本敏則前組長 ⑨地方自治部門 市原一生元副村長 ⑩地域振興部門 区長会宮田義久会長 ⑪社会福祉部門 老人クラブ連合会藤崎英廣会長 ⑫産業振興部門 農業委員会渡邊和徳会長 ⑬教育文化部門 教育委員会後藤隆興委員 ⑭式典のオープニングを飾った南阿蘇中学校吹奏楽部による演奏 ⑮イベントのオープニングを飾った「みなみあそ歌桜会」による合唱 ⑯村内3保育園園児による遊戯披露 ⑰イベントを楽しむ来場者 ⑱「よしもとお笑いステージ」で会場が笑いに包まれました ⑳キッチンカーでの食事を楽しむ来場者



民生委員・児童委員協議会 会長 荒牧カヨ子さん

民生委員・児童委員協議会では、皆さんが安心安全に暮らし続けていけるよう、寄り添い見守り相談活動を重ね、行政や関係機関と協働し、幸せな地域づくりに取り組んでいます。

今回、これらの取り組みが評価されたことを嬉しく思います。

これまでの20年で村は、災害からの復興で環境が整えられ、住民が主体的に支え合う村となり、自然、歴史、産業が多彩な心安らぐ理想郷になったと感じます。

この先もふだんのくらしのしあわせの実現を、委員一同力を合わせて目指してまいります。

村制20周年記念式典で話された吉良村長の式辞、山室議長の祝辞の要旨を掲載します。

村長式辞

南阿蘇村は平成17年2月に、長陽村・久木野村・白水村の3村が合併して誕生いたしました。当時の人口は、1万2千人余り、合併後の名称を「南阿蘇町」とすることも可能でありましたが、「町」にするか、「村」にするかで、意見が大きく分かれたため、中学生以上にアンケートをとることになりました。

アンケートの結果は、「町」より「村」の方が多く、「南阿蘇村」と決まりました。平成の大合併において、合併後に「村」を選んだのは、全国で南阿蘇村が初めてであり、このことは、当時の村民の賢明な判断であったと、誇りに思うとともに、後世に引き継いでいかなければなりません。

合併から20年、これまでに幾多の苦難が、大海原の荒波のように繰り返し押し寄せてきましたが、村民の英知と力を結集して乗り越え、成長を遂げてきました。

今日の南阿蘇村がありますのも、先人のたゆまぬ努力と、本日ご列席の皆さまをはじめ、支えていただいた多くの方々のお陰と、深い感謝の意を表させていただきます。

これまでの幾多の試練の中で、最も重大で、衝撃的であったのが、熊本地震であります。犠牲となられた方々に、改めてお悔み申し上げます。

地震とその後の豪雨により、村民の尊い命と財産が奪われ、インフラも破壊され、これまでの穏やかな生活が、一瞬にして奪い去られました。

避難所には住み家を無くした人、道路や橋が壊れ我が家に帰り着けなくなった方々など、憔悴しきった人で溢れていました。このような過酷な状況の中、村民は寄り添い、力を合わせ、前へと進みました。

自衛隊・警察・消防に加え、医療や福祉関係、そして多くのボランティアの支えは、村民に勇気と希望を与えてくれました。また、国・県からの財政支援や、全国から寄せられた義援金も復旧・



復興への大きな力となりました。

復興の過程で、私たちが得た教訓は、備えの重要性、地域コミュニティの力、そして、何よりも人と人との絆の大切さです。この教訓を胸に、私たちは、いつ何時、何が起ころうと、安心して暮らせるよう、災害に強い村を創っていくとともに、人と人が手を握り、支えあうような心豊かな村であり続けなければいけません。

南阿蘇村は、10年前は「消滅可能性自治体」でしたが、今では「自立持続可能性自治体」となったことは大変喜ばしいことです。私たちの住む故郷「南阿蘇村」は、世界に誇る阿蘇の大自然や、全国に名だたる水源、そして温泉、また数多くの歴史や文化など、地域の宝に恵まれた、実に素晴らしい村です。

この素晴らしい村を、村民の力を一つにして、さらに魅力ある村にしていかなければなりません。本日のこの式典は、熊本地震からの復興を祝い、更なる飛躍を誓う式典であります。20周年という節目を契機に、先人たちが築き上げた文化と歴史を心に刻み、笑顔が溢れ夢と希望に満ちた村を築くため、村民の総意を挙げ全力で取り組んでいく所存であります。

結びに、本日ご臨席を頂いたご来賓各位、会場にお越しの皆さま、そして南阿蘇村民すべての皆さまの益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げますとともに、皆さま方の引き続きのご支援とご協力を切にお願い申し上げます、式辞と致します。

本日は誠にありがとうございました。

令和7年1月19日
南阿蘇村長 吉良 清一

議長祝辞

本日ここに、南阿蘇村村制20周年記念式典が
 挙行されるにあたり、村議会を代表して、一言ご
 挨拶を申し上げます。

まずもって、来賓各位には、ご多用のところご
 臨席を賜り有難うございます。村民の皆さま方にも
 多数ご参列いただき、本式典が、盛大に開催で
 きますことに、厚くお礼を申し上げます。

南阿蘇村が誕生して20年という節目を、皆さ
 ま方と迎えられますことを、大変嬉しく思ってお
 ります。

また、晴れの表彰の栄に浴される皆さま、誠にお
 めでとうございます。一隅を照らす者は国の宝と申
 しますが、皆さまの多年にわたる功績が、今日の南
 阿蘇村の発展をもたらし、支えてきたのであり、衷
 心から敬意を表しますとともに、今後とも一層のご
 活躍をお祈り申し上げる次第であります。

さて、本村は平成17年2月13日に、平成の大
 合併において、白水村、久木野村、長陽村の三村
 で合併を行い、合併してもなお、「村」という選択
 をした唯一の自治体として誕生し、以来、着実に
 発展の道を歩み続けてまいりました。

今日までの20年は、社会情勢の変化への対応、
 また自然災害との戦いでもありました。特に、平
 成24年九州北部豪雨災害の後、平成28年熊本地
 震では甚大な被害を受け、さらにその傷が癒える
 間もなく、令和2年から始まった新型コロナウイルス
 の世界的大流行による生活様式の変容など、
 幾度となく大きな試練もありましたが、先人た
 ちの不断の努力により、これらを乗り越え前進し
 てまいりました。



これもひとえに、歴代村執行部ならびに議員各
 位の並々ならぬ努力と、村民の皆さまの深いご理
 解とご協力の賜物と、深く感謝を申し上げる次第
 であります。

現在、我が国は、急激な人口減少、物価の高騰
 や個人消費の低迷など、社会経済全般にわたる、
 数多くの課題に直面しております。

本村でも、同様の課題はあるものの、令和5年
 7月、南阿蘇鉄道全線運転再開をもって熊本地震
 からの復興を完了、昨年2月には阿蘇立野ダムが
 完成するなど、明るい話題も多く、今後、本村の
 更なる飛躍が期待されます。

村議会としましても、二元代表制の一翼を担い、
 将来のむらづくりへの決意を新たに、今後も引き
 続き経済の活性化、村民の皆さまが安心安全に暮
 せる村づくりに向け、より一層の努力をいたす所
 存であります。

今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い
 申し上げます。

終わりに、南阿蘇村の限りない発展と、来賓各
 位ならびに村民の皆さま方の、ご健勝とご活躍を
 心より祈念しまして、私のお祝いの言葉といたし
 ます。

令和7年1月19日

南阿蘇村議会議長 山室 昭憲

南阿蘇村 10年間のあゆみ (H27~R6)

2015 (平成27年)

4月 1日 長陽西部、立野、長陽保育所
が統合し、ちょうよう保育園
開園 **1**

4月 15日 道の駅「あそ望の郷くぎの」
登録 **2**



2016 (平成28年)

4月 1日 白水、久木野、長陽中学校が
統合し、南阿蘇中学校開校 **3**

4月14日、16日 熊本地震発生



2017 (平成29年)

3月 25日 村役場新庁舎落成 **4**



2019 (平成31年)

2月 15日 村内初の災害公営住宅である
下西原第1団地の落成 **5**



2019 (令和元年)

7月 23日 上天草市と包括連携協定締結 **6**

9月 14日 県道28号熊本高森線俵山ト
ンネルルート全線開通 **7**

12月 1日 第1回みなみあそ復興マラソ
ン大会開催 **8**



2020 (令和2年)

1月 25日 高野台防災公園完成 **9**

8月 8日 JR豊肥本線全線開通 **10**

10月 3日 国道57号現道部開通 **11**



2021 (令和3年)

3月 7日 国道325号阿蘇大橋ルート、
新阿蘇大橋開通 **12**





2021 (令和3年)

- 4月 1日 中松、白水、両併小学校が統合し、白水小学校開校¹³
- 4月 23日 複合施設 LOOPみなみあそ (図書室併設) オープン¹⁴
- 5月 6日 東京2020五輪聖火リレー開催¹⁵
- 8月 6日 ICT交流センター落成¹⁶
- 9月 24日 南阿蘇村農業みらい公社設立¹⁷

2022 (令和4年)

- 3月 11日 阿蘇長陽大橋復旧工事完了¹⁸
- 5月 20日 SDGs未来都市に選定¹⁹
- 5月 30日 村内牧野が「未来に残したい草原の里100選」に選定
- 10月 27日 台湾東港鎮と国際交流促進覚書 (MOU) 締結²⁰

2023 (令和5年)

- 3月 31日 立野交流施設落成²¹
- 7月 14日 熊本地震震災ミュージアム「KIOKU」オープン²²
- 7月 15日 南阿蘇鉄道全線運転再開²³

2024 (令和6年)

- 2月 17日 阿蘇立野ダム完成²⁴

2025 (令和7年)

- 1月 19日 南阿蘇村村制20周年記念式典